

第7次広島県保健医療計画の 策定に当たって



超高齢社会を迎え、医療や介護を必要とする方々がますます増加することが見込まれています。こうした中でも、県民の皆様が生涯にわたっていきいきと暮らし、生活の質（QOL）の向上を図るためには、健康で活躍できる期間を伸ばしていく必要があります。

このため、保健医療計画をはじめ同時に策定する健康、医療、介護に関する基本的な計画については、「健康寿命の延伸」を総括目標とし、それぞれが整合性をとりながら施策を推進することで、その実効性を高めていきます。

保健医療計画においては、質が高く安心できる保健医療提供体制を地域包括ケアシステムと一体的に構築し、退院後も在宅等で自分らしく暮らすことができるよう医療と介護の連携を強化していくほか、限られた医療資源の効率的な活用のための医療機能の分化・連携、医師など医療従事者や介護従事者の確保・育成に引き続き取り組んでいきます。

また、疾病予防、重症化予防、再発予防や健康づくりの推進など、健康寿命の延伸にも積極的に取り組むこととしています。

県民の皆様一人ひとりにも健康の保持と自立にできるだけ努めていただき、この計画の推進によって皆様の「欲張りなライフスタイルの実現」と活気あふれる広島県を目指していきます。

終わりに、計画の策定に当たりましては、保健・医療、介護など専門的な視点や地域における現場の視点から、各種会議の委員の方々をはじめ県民の皆様より貴重な御意見、御提言をいただきました。心から感謝申し上げますとともに、計画の実現に向け、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成30（2018）年3月

広島県知事 湯崎英彦